

最善のアイデアを企業に提供

村木税理士事務所 村木 慎吾さん



決算・確定申告など、税務面から企業活動をサポートする税理士。中小から大企業まで、いまやどこの企業にとってもあたりまえの存在となっている。企業にとって欠かせない存在である税理士だが、業界は今、平均年齢約60歳と高齢になっているのが現状だ。村木税理士事務所（大阪市北区）所長の村木慎吾さんは現在29歳。税理士としては若年ながら、ベテラン税理士をしのぐほどの膨大な税知識を備えている。

いきなり」ときっぱり。「私は、クライアントの売り上げを増やすことはできないですが、税金費用を下げることによって利益を増やすサポートをしてあげたい」と税金をコストとして考える意識が、経営者にとって重要であると語る。

独立してからは顧問税理士として企業をサポートする一方、セカンドオピニオンの役割もこなす。「企業から顧問税理士に内緒で申告書を見直してほしいという依頼もあります。調査した結果、1000万円も過大納付となっていたケースもありました」。村木さんは税理士に任せきりにするのではなく、経営者自らが税務について関心をもってほしいと訴える。

税に関する幅広い知識を持つ村木さん。その知識をかわれ、さまざまな税務専門誌に原稿を依頼され、仕事の合間に執筆する。「時間が足りないのは自分の能力不足ですが、1日50時間くらいあれば助かりますね」と多忙な毎日を送る。

「少し先の話になりますが、国税不服審判所の国税審判官もしてみたいと思っています。そのためには、その日の自分にはこれがベストだと思ふことを毎日やっていって、その積み重ねでつかぬ」と展望を明確に語る村木さん。「税法では誰にも負けたくない」と、若手のホープは「進化し続ける税のプロフェッショナル」として今後も活躍する。

「その日の自分にはこれがベストだ、と毎日やっていくだけ」と語る村木さん。



国際税務に対応できる

力が必要になってくる

「仕事も含め、税法は完全に自分の趣味ですね。税法に関する疑問点が生じると、これを解決すれば知識が増えると喜んでしまいます」自らを税法オタクと自負する村木さんは20代にして、本物の税のスペシャリストといえる知識を持っている。

村木さんは同志社大学商学部を卒業し、税理士法人ゆびすいに入社。その後、税理士試験に合格、大卒では最速となる24歳で税理士に登録。同社を退社後、世界的な4大会計事務所の1つである税理士法人トーマツに4年間勤務した。

「素晴らしい上司に恵まれ、トーマツでは朝から晩までとにかく仕事に明け暮れていました」。村木さんはトーマツで税法を徹底的にたたき込まれ、経

験と専門知識を豊富に蓄えてきた。

「いまの時代、中小企業でも中国などとの国際取引が増えていますから、国際税務に対応できる力も税理士にとって大切になっています」。

国際取引に関する税務知識を持つ税理士は数少ないのが現状のなか、村木さんはこの分野も得意としクライアントも多い。「同業の税理士からも、専門分野である国際税務や組織再編税制、連結納税に関する相談を受けることがあります」

2009年、諸事情をきっかけにこれまで培ってきたものの集大成として、独立した村木さんは、クライアントが抱える問題を解決する最善のアイデアをいつでも提供できる税理士が、理

想の税理士像だと考えている。

「アイデアを生むのは大変ですが、アイデアが出たときは至福のときです。秘訣は、多くの知識を蓄えること、クライアントに対する愛情、それと自分の無知でクライアントに迷惑をかけたくないという責任感でしょうか」と話す。

税金費用もコストとして管理が必要

また「コスト管理に力を入れる経営者も、税金費用は仕方ないと思っている方がほとんどです。確かに税金費用は避けることはできませんが、うまく税負担率を低減するなどによって税金費用は管理できるということを、経営者の方たちに提案して

スペースプロ 一級建築士事務所

地域の知恵と特性を生かした街の実現へ

日々忙しく業務に追われる日本のビジネスパーソン。帰宅後の安らぎが明日への活力をあたえる。開放感のある間取りに木材をふんだんに使った住宅は、疲れた心身を癒してくれる。「豊かで楽しい」をコンセプトに、このような居心地のよい家づくりを手がけているのが、スペースプロ一級建築士事務所（神戸市中央区＝神戸事務所）だ。

基本に忠実であり、決して奇抜ではないが、街並みに知的な印象で映える建築デザインに注目が集まっている。

代表の岡田俊彦さんは、大手設計会社で意匠設計チーフとして10年以上活躍。その間、ポー

ライナーの神戸空港駅など、建築コンペで8回当選の実績を持つ。独立後、地元明石市の工務店のリフォーム工事で指名を受け、それが縁となり、共同で臨んだコンペでは連戦連勝中だ。その作品が、住宅雑誌の巻頭特集を2度飾っている。

エリアや住居・事業所の別を問わず、「狭い、あるいは形状の変わった土地でもお気軽にご相談ください」と広く門戸を開く。大型連休を前に、JR神戸駅から徒歩7分のところに新たに神戸事務所を開設したばかりだ。神戸高速鉄道や地下鉄海岸線の駅からも近く、5月2日から5日にかけて、新築やリフォームの相談会を無料で開催す

る。

「今後は創造都市という、その地域の知恵と特性を生かした街を実現したい。その第一歩として、地域の障がい者団体が作ったガラスアートを建築に取り入れていきます」と岡田さん。一方で非常勤講師として教壇に立つ。これまで日本工科大学で設計指導に当たってきたが、加えて4月からは大手前大学現代社会学部でも都市・社会学を教える。シビックプライド、すなわち市民が誇れる都市という考え方を広め、将来的にはNPOや企業と連携し、創造都市とシビックプライドの両輪で街づくりを進めるのが夢だと語る。



梓設計在籍時の作品である「ポータルライナー・神戸空港駅」を含む建築コンペでは8回当選の実績を誇る（円内は岡田俊彦代表）

■スペースプロ 一級建築士事務所
 ▷所在地 神戸市中央区元町通6の1の4
 元町ウェストビル4A（神戸事務所）
 ☎078・946・8880
 ▷代表者 岡田俊彦氏
<http://www.spacepro.biz/>